

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 24.7.31 第 180 回国会第 10 号

7月31日(火) 第10回の委員会が開かれました。

## 1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。  
理事 石田三示君(生活)(去る6日の議院運営委員会における理事の各会派割当基準の変更に伴う選任)

## 2 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・郡司農林水産大臣、後藤内閣府副大臣、大島総務副大臣、佐々木農林水産副大臣、中野外務大臣政務官、仲野農林水産大臣政務官、中根経済産業大臣政務官、津川国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

### 野田 国 義君(民主)

- ・「平成24年6月8日から7月23日までの間の豪雨及び暴風雨による災害」(以下「豪雨災害」という。)による農地・農業用施設、農業用機械への被害に対する支援策はどのようなものか。
- ・豪雨災害により崩壊した道路の復旧に向けた支援策はどのようなものか。
- ・国営諫早湾干拓事業の潮受堤防排水門の開門を早期に実施すべきと考えるが、有明海の再生に向けてどのような対応策をとるのか。

### 坂本 哲 志君(自民)

- ・豪雨災害の公共土木災害復旧事業等に関する激甚災害指定及び局地激甚災害指定の見通しはどうか。
- ・特に農業用排水施設は早期の復旧が必要であり、査定の短期化や査定前着工を認めるべきではないか。
- ・農業共済の共済金の早期の支払いや仮払いを実施すべきではないか。

### 中野渡 詔 子君(生活)

- ・農業水利施設の防災対策を進めるに当たってのスケジュール及び重点化すべき地域や施設をどのように考えるか。
- ・播種前には場が被災し、農業共済の対象とならない場合にはどのような救済措置があるか。
- ・青年就農給付金について予算を確保するとともに原則45歳未満とされている就農時の年齢要件を引き上げるべきではないか。

### 石田 祝 稔君(公明)

- ・木質バイオマス発電の目的をどのように考えているか。
- ・再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始後の、木質バイオマス発電施設建設の申請状況及び今後の見通しはどうか。
- ・6月下旬から7月にかけて宇和海等で発生した赤潮被害について、県・市町村が行うへい死魚の処理に要する経費、漁業共済の共済掛金の上乗補助、経営再開のためのえさ代への補助は特別交付税で措置されるのか。

### 江 藤 拓君(自民)

- ・配合飼料価格の高騰に対しどのような対応を検討しているのか。
- ・原発事故に伴う損害賠償の早期支払いのために、いわゆる仮払法の政令改正を行い、農畜産物を仮払いの対象に追加すべきではないか。
- ・口蹄疫に係る家畜埋却地について、農地に戻すまで国が責任を負うべきではないか。

### 吉 泉 秀 男君(社民)

- ・青年就農給付金の応募は、どのような類型で行われているのか。
- ・政府は農の雇用事業により約4000人を雇用するという目標を掲げているが、どのような見通しになっているか。
- ・牛海綿状脳症(BSE)対策の再評価の状況について農林水産省としてどのように考えているか。